

※開催概要について

この資料は、勉強会の議論の状況を迅速に伝えるために、ファシリテーターがグループ討議の概要を発表した内容をまとめて整理したものです。個別の意見を示したものではありませんことをご了承ください。

沼津高架PIプロジェクト

沼津駅周辺地区第2回勉強会

開催概要

2月2日（土）、沼津駅周辺地区にて第2回勉強会が開催されました。25名が参加した他、PIプロジェクトを監視・評価するPI委員会から委員2名が出席しました。

冒頭、会議の運営がファシリテーターに一任された後、勉強会の進め方に関する前回挙げられた質問についてPI運営事務局から回答がありました。勉強会開催のスケジュールが当初より延長されること、参加者から資料を提供できること、また、勉強会では予断ない検討が期待されていること等が改めて確認されました。

続いて、グループ検討の前半では、沼津駅周辺地区の地域づくりの目標に関して主に、前回討議時間の足りなかった「交通」と「防災」の観点からの意見交換が行われました。「交通」については、沼津駅南北の自動車・歩行者・自転車交通の課題解決が必要であることの他、魅力的で賑わいを生む道路空間や交通弱者にも便利な公共交通の活性化などについて意見がありました。また、駅前には、アクセスしやすい、人が集まりやすい施設や空間が必要といった意見もありました。「防災」については、駅の南北市街地において津波に対する危機感や対策にギャップがあることが心配、避難のための施設・空間が必要などの意見がありました。

後半では、広域的な「拠点」「交流」や、対策の「戦略」「財政と事業効果」の観点から議論が行われました。沼津市は、商業の面では既に県東部地域の「拠点」ではないし、交通やモノの「交流」の中核機能は郊外に移っているのでは？という現状認識についての議論があり、今後は、より広い文化圏を視野に入れつつ、文化・教育や自然環境、新たな産業活性化を図り拠点性を持つという展望が語られました。「戦略」については、地域づくりの目標を明確にし、実現に向けた最善策を客観的かつ迅速に判断してほしい、その際には長期的な経済状況予測に基づくことも重要という意見がありました。また、県が調整役として積極的に介入して、民間と行政の協力体制を求める提案がありました。

「財政と事業効果」については、市の財政状況は現状でも不安があり、どのような計画であっても、市の負担額が明確に示されること、民間からの大きな投資が生まれる可能性がある計画であることが大切だといった意見がありました。

また、PIプロジェクトの進め方についても改めて議論があり、沼津市やJRとの意見交換の場を求める声、インターネット等を活用して様々な立場からのより幅広い市民との議論を期待する声がありました。

最後に、PI委員から、「勉強会は、沼津市をよりよくするという共通の思いのもと様々な意見の共通点を見つける意義がある。悲観的な意見を出すのではなく長所を伸ばすための議論に期待したい」という参加者に向けた要望と、「若い世代や女性からの視点も取り入れて検討を進めるべき」というPI運営事務局に向けた要望がありました。

次回（3月2日（土））は、これまでの議論のまとめと、地域づくりの目標をどう達成していくか、ステップ3に関わる議論が始まる予定です。